

2020年度

事業計画書

自 2020年4月 1日
至 2021年3月31日

特定非営利活動法人日本スポーツボランティアネットワーク

2020年度 事業計画

1. 目的

我が国のスポーツボランティア文化の醸成を図り、国民の生涯にわたるスポーツ活動を通じた豊かな生活の形成に寄与することを目的に、以下の事業を実施する。

2. 事業

- (1) スポーツボランティアに関する普及・啓発
- (2) スポーツボランティアに対する各種研修会の開催
- (3) スポーツボランティアに関する調査研究
- (4) その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

3. 事業実施の方針

今年の夏に開催される2020東京オリンピック・パラリンピックでは、大会ボランティア、都市ボランティアあわせて10万人以上の参加が見込まれている。これだけのボランティアが一度に活動するイベントは過去に例がなく、前年のラグビーワールドカップ、翌年のワールドマスターズゲームズと合わせ、スポーツイベントのボランティアに対する人々の関心が大いに高まることが期待される。

当会では、こうした状況を好機ととらえ、ラグビーワールドカップと東京オリンピック・パラリンピックのボランティアが継続的に活動する場や、これらの大会によってスポーツボランティアに興味を持った人々が新たにスポーツボランティアを始める場の発掘に取り組む。具体的には、マラソン大会等の市民参加型イベントを主催する地方自治体や、多くの人々にスポーツ観戦機会を提供するプロスポーツ・トップスポーツチーム等へのボランティア理解の促進、研修会開催支援、ボランティア募集支援を積極的に行う。

また、スポーツ以外のボランティア団体との連携にも力を入れる。まちづくり、環境、災害支援、福祉などのボランティア活動機会を当会のライセンス保有者に提供するとともに、これらの分野で活動している人々にもスポーツボランティアの社会的意義を伝え、参加を促していく。スポーツイベントのボランティアをきっかけに、その後多様なボランティア活動に従事する人が増えることに期待したい。

今年度も、社会の課題やニーズに対応しながら、わが国のスポーツボランティア文化の醸成に向けて、会員団体の拡充とスポーツボランティア養成プログラム受講者の増加に取り組む。

4. 事業の実施に関する事項

特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施 予定 日時	実施 予定 場所	従事者の 予定人数	受益対象者の範囲及び予定人数	支出 見込額 (千円)
スポーツボランティアに関する普及・啓発	会員拡充	通年	全国	8名	正会員(団体)52、(個人)10 賛助会員1(団体)20 賛助会員2(団体)12	3,230
	会員団体による情報発信および情報管理	通年	インターネット	8名	ホームページを活用した会員団体の普及・啓発	0
	コーディネート事業(スポーツボランティア紹介)	通年	全国	8名	350事業	0
スポーツボランティアに対する各種講習会の開催	スポーツボランティア養成プログラムの実施(共催事業含)	4月～	全国	8名	スポーツボランティア研修会 84回 計4,650名 リーダー養成研修会 33回 計1,620名 上級リーダー養成研修会 2回 計60名 コーディネーター養成研修会 1回 計10名 スキルアップ研修会 6回 計240名 ライセンス更新講習会 8回 計240名 合計 134回 のべ6,820名	13,495
	公開講座の開催	6月～	東京都	8名	6回 計180名	822
	スポーツボランティアアサミットの開催	9月	福島県	8名	1回 計200名(有料参加者150名)	1,215
	大規模スポーツイベントへの協力	4月～	全国	38名	2020年東京オリンピック・パラリンピック ・開催自治体及びキャンプ地での講演会、 大会後のボランティア活用への助言 2021年ワールドマスターズゲームズ関西 ・ボランティア研修会の講師派遣 ・開催自治体での講演会等	1,548
	事務局の強化	通年	東京都等	18名	事業遂行に係るスタッフの配置	16,134
スポーツボランティアに関する調査研究	スポーツボランティア団体活動実態調査	12月	全国	8名	地方自治体、スポーツ団体等	0
広報活動	スポーツボランティアに関する情報発信	通年	インターネット	8名	ホームページ(スポボラ.net) ・募集情報、各種研修会の開催案内等	4,950
講演	外部からの依頼に対する情報提供	通年	全国	30名	大学、行政、企業等	0
						41,394